

## 平成27年7月の大阪森林便り

### マレーシア合板 供給不安広がる 伐採規制を強化

#### 国内勢は増産対応

型枠用合板で約8割を占めるマレーシア産合板に供給不安が広がってきました。

丸太の違法伐採取り締めりが強化された影響で輸入量が大幅に減っています。

4月は3月に比べて5%減りました。前年同月比では31%の大幅減と、5か月連続のマイナスです。マレーシアでは、毎年丸太の伐採量を決めており、これを超えて伐採すると違法になります。マレーシア産の輸入価格は今後も上昇が見込まれています。

(2015年6月9日 日本経済新聞記事から抜粋)

### 南洋材丸太の対日価格上昇 — 5月積み

南洋材丸太の対日価格が2か月連続で上昇しました。前月と比べて1.7%上がりました。1~4月のマレーシアからの丸太輸入量は、前年同期と比べて19.1%減りました。

(2015年6月10日 日本経済新聞記事から抜粋)

### 木材輸出、製材品を底上げ 丸太から転換、活性化狙う

日本の森林蓄積は、年間約1億m<sup>3</sup>増えています。

1~4月の丸太輸出量は、前年同期比52.4%増の201,000m<sup>3</sup>に達しました。輸出先は中国、台湾などアジアが多くなっています。

製材品は中国、韓国向けを中心に0.4%増の22,000m<sup>3</sup>。

輸出用の丸太は、柱や板がとりにくく、品質がやや劣る中級・低級品が多くなっています。

(2015年6月16日 日本経済新聞記事から抜粋)



## 木材 ホームセンターで値上がり

ホームセンターや大型雑貨店の店頭で、D I Y（日曜大工）に使う木材が、1年前に比べ1～2割高くなっています。円安の進行で輸入コストが上昇しているためです。

ホワイトウッドの価格がこの1年で2割ほど上昇。ラワン合板は1割高くなっています。くぎやねじ、塗料などの価格に変化はほとんどありません。

(2015年6月18日 日本経済新聞記事から抜粋)



## 自然保護1人1日1円 — 環境省が新税検討

### 住民税に上乗せ案

環境省は、自然保護を目的とした新税を創設する検討に入りました。

国民全員に毎日1円ずつ住民税に上乗せするような、薄く広い負担を求めます。

森林や河川、海などの荒廃を危惧しているからです。

(2015年6月20日 日本経済新聞記事から抜粋)



## セイホク、3割減産 — 針葉樹合板

セイホクは、7月から針葉樹合板の生産をグループ全体で3割減らします。

針葉樹合板の需要が減少して在庫が増え、価格も低迷しています。

セイホクの生産量は5割を占めます。価格は、直近のピークと比べて13%安くなっています。型枠用は増やす方針です。

(2015年6月20日 日本経済新聞記事から抜粋)



## 針葉樹合板、減産相次ぐ メーカー、過剰在庫を調整

### 住宅着工伸び悩み需要減

針葉樹合板のメーカーの間で、減産の動きが広がってきました。最大手のセイホクが大幅減産を打ち出したことで、日新などの大手メーカーが一斉に減産強化に動き始めました。住宅着工の伸び悩みで需要が低迷し、在庫の過剰感が強まっています。価格下落に歯止めがかからないため、減産で在庫を調整します。

(2015年6月23日 日本経済新聞記事から抜粋)



## 輸入合板、8年ぶり高値水準 — 型枠用

コンクリート型枠用合板の価格が8年ぶりの高値水準にあります。5月末と比べ4.5%高くなっています。原木の伐採制限で合板の生産量が大幅に減少しました。

(2015年6月25日 日本経済新聞記事から抜粋)



## 今月の木の話

## 木材の原料はなに？

樹木は何を原料にして木材（細胞壁）を作っているのでしょうか。

木材の主要化学成分であるセルロース、ヘミセルロース、リグニンは、すべて炭素（C）を含んだ有機化合物です。

植物は空気中の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を取り入れて、酸素（O<sub>2</sub>）を放出します。後に残るのはC（炭素）です。このCが木材の原料になっています。

葉緑素が光のエネルギーを使って、水と空気中のCO<sub>2</sub>からブドウ糖（グルコース）を合成する作用が「光合成」です。樹木は、この光合成によって作り出された糖を樹体内部の隅々に行きわたらせ、それを原料にして細胞壁を作っています。

根から水と一緒に吸い上げられた無機養分は、細胞の生命活動を維持するために使われます。無機養分は細胞壁の材料にはなりません。

(日刊木材新聞社発行「今さら人には聞けない木のはなし」より抜粋)

